

景観配慮協議結果通知書

鎌 都 景 第 422 号 1  
令和7年（2025年）7月7日

一建設株式会社  
代表取締役 堀口 忠美 様

鎌倉市長 松尾 崇



次のとおり通知します。

配慮協議番号	第 7-11 号
土地利用類型 の 名 称	鎌倉地域まち並み型商業地
景観地区	<input checked="" type="checkbox"/> 内（鎌倉景観地区） <input type="checkbox"/> 外
行為の場所 （地名地番）	鎌倉市御成町129番7
行為の種類	建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転
	開 発 <input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更
特定地区	<input type="checkbox"/> 内（ <input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺） <input checked="" type="checkbox"/> 外
協議事項	<p>&lt;地区の特性・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域商業地と観光商業地が混在しているが、場所によっては観光商業の立地が多く見られる。</li><li>・古都鎌倉の顔にふさわしい商業系土地利用の誘導、既存の集積を活かした、観光商業と地域商業の調和による、魅力的な商業地の誘導が求められる。</li></ul> <p>&lt;景観形成基準に係る協議内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・建物の基調色は景観計画に適合している。</li><li>・敷地内は適切に緑化されている。</li></ul> <p>以上のことから、当該景観配慮協議対象行為は鎌倉市景観計画を理解した上で計画されているものである。</p>
備考	